

地域理解プログラム

「海外に開かれた長崎：過去・現在・未来」

～開発途上国と日本国内の課題を共に学ぶ

(JICA 長期研修員と日本人学生) ～

2023年3月6日～9日にかけて、長崎県内(長崎市及び五島市)でアジア、大洋州、中東、アフリカ、中南米等から来日している JICA 長期研修員と日本人学生を対象とした地域理解プログラム「海外に開かれた長崎：過去・現在・未来」を実施します。

地域理解プログラムは、開発途上国の将来のリーダーとなることが期待される JICA 長期研修員を対象に、日本の近代化や戦後復興等の経験を学ぶ JICA 開発大学院連携プログラムの一環として、2019 年度より開始されたもので、JICA 九州は長崎県立大学との連携覚書に基づき、同大学と初めて共同で本プログラムを実施します。

JICA 長期研修員に、長崎の歴史、文化及び課題について学んでもらうとともに、日本人学生もそれらを再認識し、JICA 長期研修員との意見交換等をおして、より広い視野を持ち、将来、日本と世界の架け橋となる人材になることを期待しています。

【参加予定 JICA 長期研修員の出身国】

アフガニスタン、ヨルダン、ガーナ、エジプト、ジャマイカ、ソロモン、フィジー、サモア、ミャンマー

【プログラム日程】

別添のとおり。

※取材をご希望の方は以下までお申し込みください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 九州研修業務課 尾形/西嶋
TEL 093-671-8288
FAX 093-671-0979
E-mail : Ogata.Yoji@jica.go.jp/Nishijima-Madoka@jica.go.jp

以上

別添：地域理解プログラム「海外に開かれた長崎：過去・現在・未来」実施概要